

武蔵野市立小・中学校において宿泊体験活動を通して育成を目指す資質・能力の系統表（案）

学年	※2 自然や文化等を愛する心	課題解決能力・情報活用能力	人間関係形成 社会参画
中3 修学旅行	○歴史・伝統文化に触れることで、 <u>郷土や国を愛する心、環境・文化保護の心情を深める。</u>	○伝統文化の保全や活用など社会の中から課題発見・設定をし、効率的な情報の収集・蓄積、深い分析や確かな根拠付けを行い、 <u>新たな考えや価値を効果的に発信・実行する。</u>	○日常と異なる環境や集団生活、優れた伝統文化の保護・継承から学び、学校生活や学習活動における <u>合意形成や参画を行う。</u>
中1 ※1	○SDGsの視点をふまえ、 <u>環境保全や自然と人が持続的に共生する大切にする心情を育む。</u> ○農村体験から技術・産業の発展を考え、自然と共生する生活の工夫や知識について理解を深める。	○持続可能な地域活性化に向けた取組の調査・研究を通して、 <u>新たな考えや価値を創造する。</u> ○体験を通じた課題解決の手だてや情報の活用方法をファーストスクールに生かすことができる。	○自分と異なる考え方や感性に触れ、 <u>多様な考えを生かした社会性を育む。</u> ○市民性として、地域活性化に参画しようとする態度を育む。
小6 移動教室	○豊かな自然や伝統文化に触れる体験を通して、自然環境や長く受け継がれてきたものを <u>守ることの重要性に気付き、大切にしようとする。</u>	○既習の学習事項から課題発見・設定をし、 <u>必要な情報の収集・蓄積、事象の比較・関連付けを行い、相手や目的に応じて表現する。</u>	○日常と異なる環境の中で、集団生活の在り方やよりよい人間関係の形成について考え、 <u>体験活動や日々の生活に生かす。</u>
小5	○自然に対して <u>畏敬の念を抱き、大切にしようとする。</u> ○武蔵野市の自然との比較をしながら、自然や自然を生かした暮らしの工夫に関する理解を深める。	○訪問する地域における課題発見・設定をし、 <u>情報を整理して、分かりやすくまとめ・表現する。</u> ○自然や地域の特性について、武蔵野市との比較しながら課題解決することができる。	○集団生活の在り方やよりよい人間関係について <u>考え、実行する。</u> ○人間関係を深める中で、自己を見つめ、関わった方に対する感謝の気持ちを育む。
小4	○自然に触れる体験を通して、 <u>自然に親しもうとする。</u> ○体験した自然について理解を深める。	○興味・関心のある課題を設定し、 <u>調査・体験を行って、情報を整理してまとめる。</u> ○体験や周りの人との交流から新たな課題をもったり、質問や感想を伝えたりすることができる。	○宿泊体験活動を通して、集団生活に <u>必要な知識や技能を身に付ける。</u> ○友達や現地の方との関わりを通して、他者とよりよい人間関係を築こうとする。

※1…太枠は、セカンドスクール・プレセカンドスクールを示す。

※2…3つの項目は、武蔵野市長期宿泊体験活動実施要綱第1条の目的を参考に作成した。

【参考資料】

- ・令和6年度各小中学校（プレ）セカンドスクール実施計画書
- ・武蔵野市長期宿泊体験活動実施要綱
- ・学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編、総合的な学習の時間編
- ・武蔵野市民科教員向け手引き「改定版」